SONY

2-179-717-**03** (1)

お客様・販売店様・特約店様用

テーブルトップスタンド

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

お客様へ
本製品の取り付けには、確実な作業が必要になります。必ず、販売店や工事店に依頼して、安全性に充分考慮して確実な取り付けを行ってください。

⚠警告　安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたが示されています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

販売店様・特約店様へ
テレビの取り付けには特別な技術が必要ですので、設置の際には取扱説明書をよくご覧の上、設置を行ってください。取り付け不備や、取り扱い不備による事故、損傷については、当社では責任を負いません。なお、この取扱説明書は、取り付け作業後にお客様に渡してください。

このテーブルトップスタンドはソニー製の下記指定機器専用です。指定機器以外にはご使用にならないでください。

指定機器（2004年9月現在）

フラットパネル デジタルテレビ	KDE-P37HVX　KDE-P42HVX　KDE-P50HVX
液晶デジタルテレビ	KDL-L40HVX

SU-PT3M

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。
しかし、まちがった使いかたをすると、火災・感電・転倒・落下などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために安全のための注意事項を必ずお守りください。

⚠警告 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・転倒・落下などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあります。

⚠注意 この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

警告表示の意味

取扱説明書では、下記のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

注意を促す記号			行為を禁止する記号
火災	感電	注意	禁止

お客様へ

⚠警告　火災　感電

下記の注意事項を守らないと火災・感電・転倒・落下などにより死亡や大けがの原因となります。

取り付けや設置作業は専門業者が行う

テレビは大変重いので、落下や転倒により打撲や骨折など大けがの原因になります。
取り付けは専門業者にご依頼ください。

注意

転倒防止の処置をする

転倒防止の処置をしないと、テレビが転倒し、けがの原因となることがあります。テレビと壁や柱などをつないで転倒防止の処置を行ってください。

注意

堅くて平坦な面に設置する

傾斜のあるところに設置すると、テーブルトップスタンドが転倒したり、テレビが落下して、けがや破損の原因となることがあります。

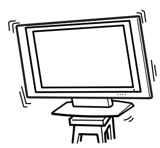
注意



安定している台の上に載せる

不安定な台の上に載せるとバランスを崩して転倒し、落下によるけがや破損の原因となることがあります。

注意



スタンドにテレビを取り付けた状態で、ぶら下がらない

テーブルトップスタンドが転倒したり、テレビが落下して、けがの原因となることがあります。

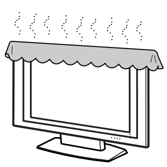
禁止



テレビの通風孔をふさがない

テレビの上に布をかけて通風孔をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

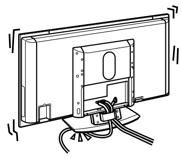
注意



テレビの電源コードおよび接続ケーブルをはさまないようにする

- テレビをテーブルトップスタンドに取り付けるときは、電源コードおよび接続ケーブルをはさみこまないようにしてください。電源コードおよび接続ケーブルに傷がついて火災や感電の原因となります。

禁止



- テーブルトップスタンドを動かすときは、電源コードおよび接続ケーブルを踏まないようにしてください。電源コードおよび接続ケーブルに傷がついて火災や感電の原因となります。

テレビの電源コードおよび接続ケーブルを足でひっかけない

テーブルトップスタンドが転倒し、けがの原因となることがあります。

注意

⚠注意

下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

指定機器以外の物を取り付けない

このスタンドは指定機器専用です。指定機器以外の物を取り付けると、落下によるけがや破損の原因となることがあります。

注意

テレビを固定する

付属のネジでテレビをテーブルトップスタンドに固定してください。固定しないと、スタンドが転倒したり、テレビが落下して、けがの原因となることがあります。

注意

設置上のご注意

設置場所は、堅くて平坦な床面にしてください。設置場所によってはスタンドの変形や傾きが生じることがありますので下記のことをお守りください。
—畳、じゅうたん、カーペットなどの上に置く場合は板など堅い物を敷く
—直射日光が当たる場所や、暖房器具のそばに置かない
—高温多湿の場所や屋外に置かない

使用上のご注意

お手入れについて

お手入れをする際には、やわらかい布で、から拭きしてください。汚れがひどいときは食器用洗剤を5〜6倍に薄め、やわらかい布に含ませて軽く拭き取ってください。シンナーやベンジンなどの化学薬品はテレビスタンドの仕上げを傷めることがありますので、使わないでください。

磁気についてのご注意

本機のスピーカー部分には強力なマグネットを使用しているため、周囲に磁気が発生します。磁気の影響による故障など、不具合のおそれがあるものは、本機のスピーカー部分に近づけないでください。

これ以降の取り付け•設置手順は販売店様•特約店様用です。

販売店様•特約店様用

先に示した安全上のご注意をよくお読みの上、取り付けや設置、保守、点検、修理などを安全に行ってください。

設置は2人以上で行う
テレビをテーブルトップスタンドに設置するときは、2人以上で行ってください。1人で行うと腰を痛めたり、けがの原因となることがあります。

注意

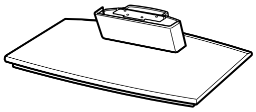
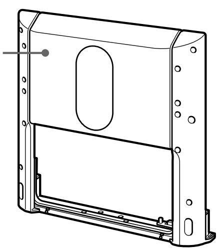
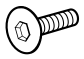
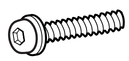
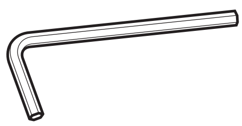
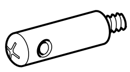
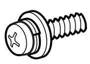
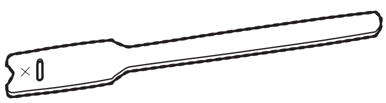
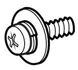
取り付け手順に従って、テレビをしっかりと取り付ける
ネジを確実に締めてください。
テレビがしっかり取り付けられていないと、テレビが落下し、けがの原因となることがあります。

注意

テレビを取り付けるときには、手や指を傷つけないように注意する
テレビを取り付けるときには、手や指を傷つけないようにご注意ください。

注意

部品を確認する

名　称	数 量
台座 	1
背板 	1
背板固定用ネジ （六角穴皿ネジ 2）  （六角穴ワッシャー付きネジ 2） 	4
六角レンチ 	1
転倒防止穴付き固定用ネジ 	2
テレビ固定用ネジ 	4
結束バンド 	1
結束バンド固定用ネジ 	1

組み立てる前に上記ネジに合った⊕ドライバーをご用意ください。

このあとに出てくる型名記載のないテレビのイラストは、KDE-P42HVXです。

テーブルトップスタンドを組み立てる

⚠警告

機器などに電源コードをはさみこむと、ショートして感電する恐れがあります。また、電源コードや接続ケーブルを引っかけると、転んだりスタンドが倒れたりしてけがの原因となることがあります。

あらかじめテレビの設置場所を決め、その近くで作業をする。

テレビは重いので、取り付ける前に場所を決め、テーブルトップスタンドを置いてください。

ご注意

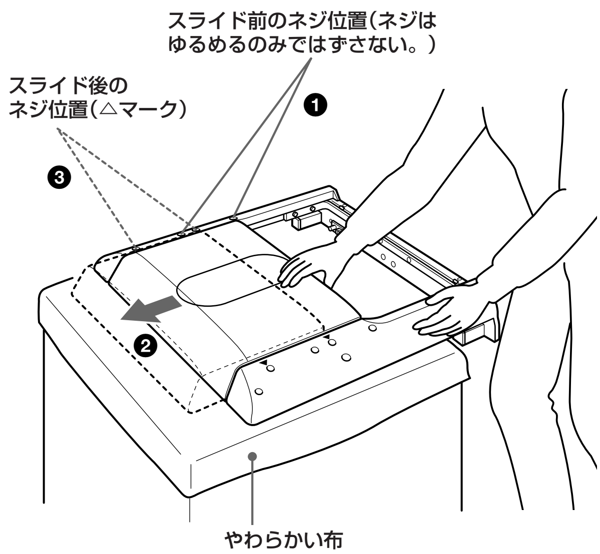
テーブルトップスタンドを押したり、引いたりしないでください。スタンドの底に付いているゴム足がはがれる恐れがあります。

1

フラットパネルデジタルテレビKDE-P50HVXを取り付ける場合のみ、ウーファースピーカーの位置を変える必要があります。上記テレビ以外は手順2に進んでください。

ウーファースピーカーの位置を変える。

❶ ウーファースピーカーを固定しているネジ左右2本ずつをゆるめる（約3回転）。
❷ ウーファースピーカーを図のようにして、止まるまでスライドさせる。
❸ ❶でゆるめたネジを△マークの位置で締めつけて、ウーファースピーカーを固定する。

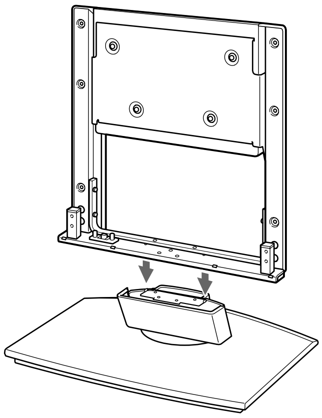


ご注意

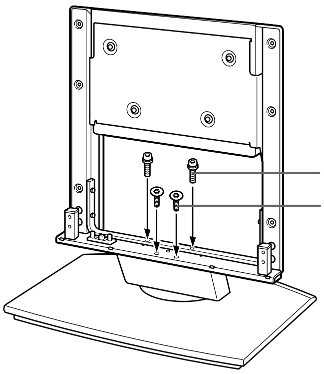
手順❷でウーファースピーカーを確実にスライドさせていないと、手順❸でネジを締めつけられません。

2 背板と台座を固定する。

❶ 台座の金属部分両端の突起に背板底面にある2つの長穴を合わせて置く。



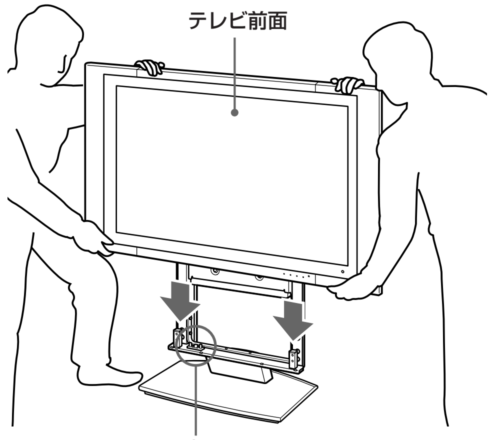
❷ 台座と背板を背板固定用ネジ4本で、付属の六角レンチを使って固定する。

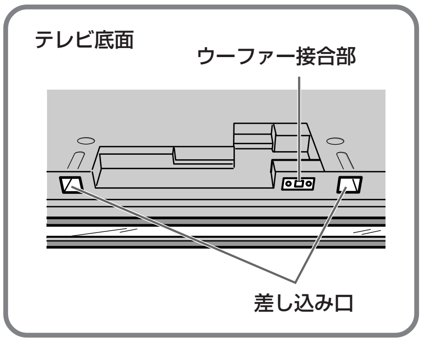


テレビを取り付ける

1 テレビをテーブルトップスタンドに載せる。

テーブルトップスタンドの凸部にテレビの差し込み口を確実に合わせて載せてください。





ご注意

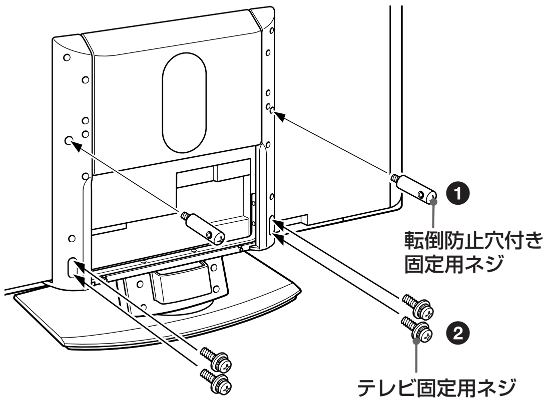
テレビ下方の透明部は、スタンドへ取り付けるときに手をはさむ恐れがありますので、持たないでください。

うら面につづく

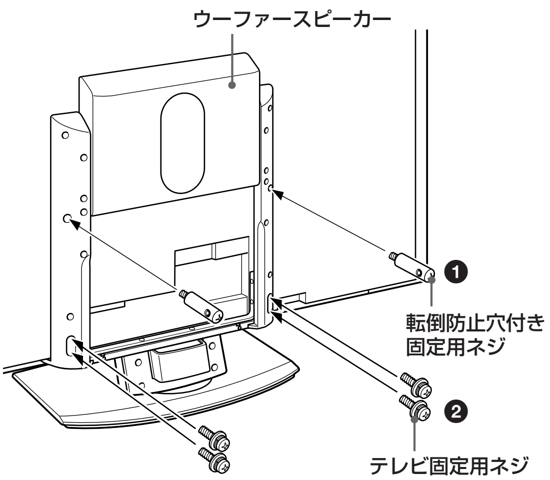
2 テレビを固定する。

❶ 背板の左右支柱のそれぞれ上から2つめのネジ穴に転倒防止穴付き固定用ネジを差し込んでテレビ後面中央の2か所を固定する。

❷ 背板の左右支柱下方の長穴の中にあるネジ穴にテレビ固定用ネジを差し込んでテレビ後面下方4か所を固定する。



ウーファースピーカーをスライドさせたテーブルトップスタンドにフラットパネルデジタルテレビKDE-P50HVXを取り付けるとき



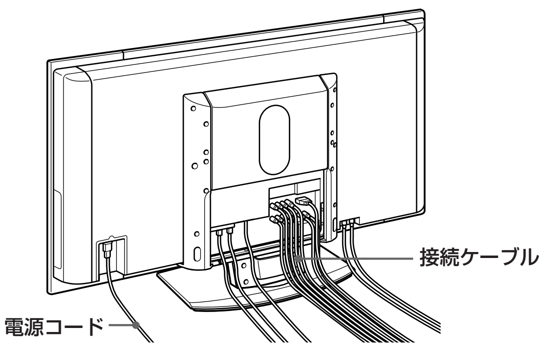
ご注意

電動ドライバーを使用する場合、締め付けトルクはおよそ1.5N・mに設定してください。

3 電源コードおよび接続ケーブルをテレビにつなぐ。

ちょっと一言

電源コードおよび接続ケーブルのつなぎかたについて詳しくは、フラットパネルデジタルテレビ（KDE-P37HVX/KDE-P42HVX/KDE-P50HVX）、液晶デジタルテレビ（KDL-L40HVX）の取扱説明書をご覧ください。

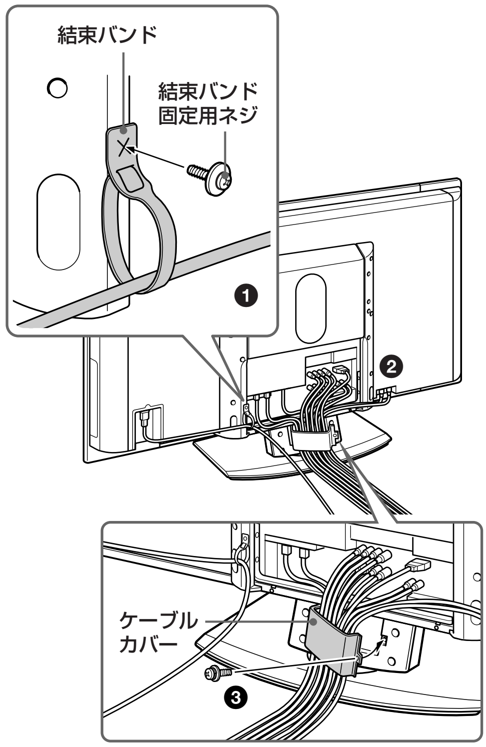


4 電源コードおよび接続ケーブルをまとめる。

❶ 結束バンドを背板の左側支柱に付属のネジで取り付け、電源コードを通す。

❷ ケーブルカバーのネジをはずして片側を開け、ケーブルを収める。

❸ ❷ではずしたネジで再びケーブルカバーを固定する。



ご注意

電源コードおよび接続ケーブルを、ケーブルカバーを固定するネジではさみ込まないでください。電源コードや接続ケーブルが破損し、故障の原因となることがあります。

ウーファースピーカーの動作確認をする

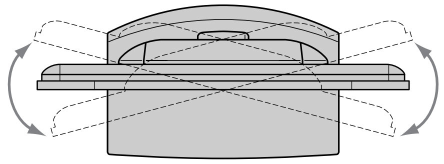
このテーブルトップスタンドには、ウーファースピーカーが内蔵されています。設置完了後、テレビの電源を入れてウーファースピーカーから音が出ることを確認してください。
テーブルトップスタンドとテレビが正しく取り付けられていないとウーファースピーカーから音が出なかったり、テレビの電源を入れてからしばらくすると、メッセージが表示されます。

ご注意

テーブルトップスタンドにテレビを取り付けて設置すると、壁との距離によって低音域の音の広がりかたに違いが出る場合があります。設置後に音質（低音域）の調整が必要な場合は、壁からの設置距離を変えるか、テレビ本体のウーファーレベルを調整してください。
テレビ本体の取扱説明書もあわせてご覧ください。

見やすい角度に調整する（スイーベル）

テレビが見やすいように、テーブルトップスタンドの左右角度を調整します。
調整できる角度については「主な仕様」をご覧ください。



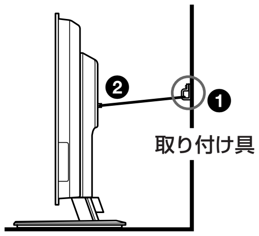
転倒防止の処置をする

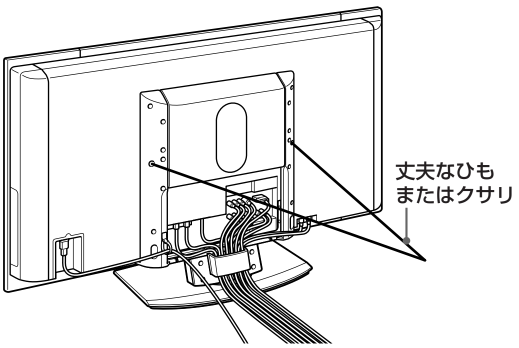
⚠警告

転倒防止の処置をしないと、テレビが転倒し、けがの原因となることがあります。テレビと壁や柱などをつないで、転倒防止の処置を行ってください。

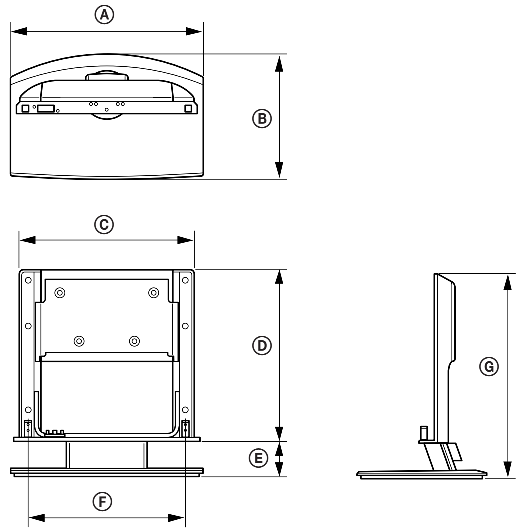
あらかじめ市販のひもまたはクサリと、壁につなぐための取り付け具をご用意ください。

❶ しっかりした壁や柱に取り付け具を固定する。
❷ 転倒防止穴付き固定用ネジの穴にひもやクサリなどを通して、壁側の取り付け具にしっかりとつなぐ。





主な仕様



		お買い上げ時	50インチ用にスライドしたとき
寸法（mm）	Ⓐ	580	580
	Ⓑ	360	360
	Ⓒ	524	524
	Ⓓ	508	593
	Ⓔ	108	108
	Ⓕ	480	480
	Ⓖ	618	703
質量（kg）		15.5	
スイーベル（左右角度調整）		左右各15度	

使用スピーカー　10cm（2）
音声出力　実用最大：50W（JEITA）
負荷インピーダンス　4Ω

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

● http://www.sony.co.jp/SonyDrive/

お客様ご相談センター
● ナビダイヤル ········ 0570-00-3311
（全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます）
● 携帯電話・PHSでのご利用は　03-5448-3311
（ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください）
● FAX ···················· 0466-31-2595
受付時間：月〜金 9:00〜20:00　土・日・祝日 9:00〜17:00
お電話は自動音声応答にてお受けしています。

ソニー株式会社　〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

この説明書は100%古紙再生紙とVOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。

Printed in Japan